令和5年12月1日発行
No.213
12月号

伊賀市社協だより

あいしあおう

災害時に役立つグッズ作成体験

（10/29「東部地域防災フェスタ」にて）

＼新聞紙で、スリッパを折ったよ！／

＼卵の殻を割れたガラスに例えて新聞スリッパで、ふみふみ！／

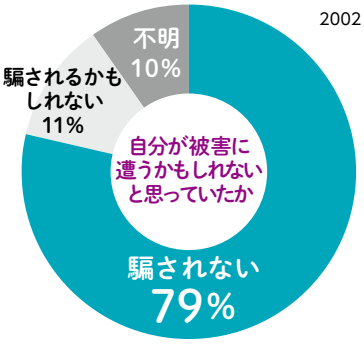
特殊詐欺被害者の8割が、「自分はだまされない」と思っていた

特殊詐欺被害者の8割が「被害に遭わないと思っていた」、また9割以上が特殊詐欺を知っていたものの、7割以上が「自分が被害にあった手口を知らなかった」とのデータがあります。（滋賀県警調べ）

三重県内でも、特殊詐欺被害件数が令和5年9月末時点で、既に昨年度の被害者数の約1．5倍となる205件、被害額は4億円以上にのぼるなど急増しています。

特種詐欺被害者への調査結果

2002年 / 滋賀県警



伊賀市社協では、消費者トラブル相談が急増した2006年より、「いが〝悪徳バスターズ〟養成講座」を9回開講し、市民参加で被害拡大を食い止め、「騙されない伊賀市」を目指して取り組んできました。

このたび、昨今の被害状況を深刻に受け止め、詐欺被害や消費者トラブルに遭う市民を一人でも減らすことを目指し、12年ぶりに養成講座」を開講します。

寸劇で、悪徳撲滅啓発実施中！ 劇団いが悪徳バスターズ

ある日、花子さんの携帯電話に届いた『料金未払い通知』のショートメール。
連絡先のサポートセンターで電話応対したのは、田増太郎（だましたろう）。
田増に、債務不履行による民事訴訟をほのめかされて、慌てた花子さん。
言葉巧みにコンビニに誘導されて…　（「架空料金請求詐欺」寸劇のワンシーンより）

2008年に、いが“悪徳バスターズ”養成講座修了生有志で結成した「劇団“いが悪徳バスターズ”」。高齢者等を狙った悪質商法や詐欺の手口を寸劇で紹介し、市民総ぐるみで消費者被害防止の啓発活動を実施。地域のいきいきサロン等への出張公演は、まもなく200回を迎え、延べ約6千人に注意喚起を促しています。寸劇のシナリオは、身近に起こった被害の手口に合わせて改編。最近は伊賀警察署員の講話と同時公演することも増えています。

代表の長瀬義直さんは、「特殊詐欺被害はよく新聞やニュースで報道されますが、実際にどんな手口で騙されてしまうのかのイメージがしづらい。寸劇を観た高齢者からは、『こんなふうに騙されるんやとわかった』との感想も多く寄せられます。災害と似ていて、詐欺被害が起きても自分に被害がなければ、他人事に思えてしまう。誰もが被害に遭う可能性があり、決して他人事と思わないで。」と呼びかけています。

劇団には、養成講座の受講機会がなかったメンバーもおられ、久しぶりの開講に期待されています。「ぜひ一緒に学び、仲間になりませんか？」と、メンバーのみなさん。

2023年度「伊賀市善行賞」「三重県福祉関係功労表彰 ボランティア功労」受賞しました！

このたび、寸劇を通じて広く市民に悪徳商法などの現状を伝え、被害防止活動を自主的に継続していることが評価されました。

劇団“いが悪徳バスターズ”活動状況

●出張による寸劇公演
公演回数／毎月2公演
（申込3か月前まで）
費用／交通費程度
依頼先／伊賀市社協
☎33-0064

●定例会
日時／毎月第1水曜日
9:30～12:00
場所／伊賀市総合福祉会館

◇この講座は、市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。

基礎講座 ＋ 専門講座 ▶

いが悪徳バスターズ養成講座

悪徳撲滅！

市民参加による悪徳撲滅を目指して「いが悪徳バスターズ養成講座」12年ぶりに開講！

わたしたちの身近に忍び寄る、特殊詐欺や悪質商法。大切な財産を無駄にしないためにも、その手口や対処方法を知り、広く呼びかけることで被害を未然に防止し、拡大させないことが大切です。伊賀市から悪徳を撲滅し、「騙されない市民」を目指しましょう！

いが「悪徳バスターズ」養成講座 内容

全3日間講座

第1回 １月２４日（水）10:00 ～ 12:00

★開講式
★パネルディスカッション・ミニ講義
「社協職員は見た！特殊詐欺や消費者トラブル事例」
【パネリスト】
伊賀市社会福祉協議会
・地域福祉コーディネーター
・日常生活自立支援事業専門員
・福祉サービス提供スタッフ
【コーディネーター】
伊賀市社会福祉協議会 事務局長　田邊 寿

第2回 ２月７日（水）10:00 ～ 12:00

★講演①
「騙されないで！身近に起こる特殊詐欺事例」
【講師】伊賀警察署　生活安全課

★講演②
「騙されないで！身近に起こる悪質商法事例と消費者トラブル解決やクーリングオフの方法」
【講師】伊賀市住民課生活安全係
消費生活相談員　横山 秀美さん
係長　藤田 勝行さん

第3回 ２月２１日（水）10:00 ～ 12:00

★寸劇「劇団“いが悪徳バスターズ”」公演
★ミニ講義・ワークショップ
「騙されない市をめざして―私たちができること―」
【コーディネーター】
伊賀市社会福祉協議会 会長　平井 俊圭
★閉講式

期間 令和６年 1/24(水)～2/21(水)

場所 伊賀市総合福祉会館２階 会議室

■対象／伊賀管内在住・在勤の方で、悪徳撲滅にご協力いただける方
■定員／５０名 ※定員になり次第締切。
■申込方法／1/19（金）までに専用フォームか電話で申込。
申込フォーム▶
■申込・問い合わせ先／
伊賀市社会福祉協議会 伊賀市ボランティア・市民活動センター
伊賀市平野山之下380 番地５ 伊賀市総合福祉会館１階
☎0595-33-0064・FAX 0595-21-8123

受講料無料

■主催／伊賀市社会福祉協議会
■共催／伊賀市、劇団“いが悪徳バスターズ”

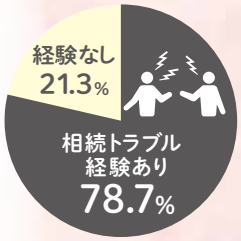
特集

自分が望む最期を迎えるために、今できること。

～相続トラブルを起こさないための遺言書、生前コミュニケーションについて～

松岡（まつおか） 衣里（えり）さん（桔梗が丘松岡行政書士事務所 代表）

遺贈寄付の支援を行う専門資格「承継寄付診断士１級」を取得。伊賀・名張の行政書士・社会保険労務士・司法書士・税理士・弁護士などの士業グループ「kiraku(キラク)」のメンバーとして活動。



相続経験者の中で、何らかのトラブルを経験した人は全体の約8割。トラブルが起きた相続の7割以上で、遺言がありませんでした。（※注1）そこで、相続トラブルを起こさないための備えについて、お話を伺いました。

（インタビュアー）
伊賀市社協 一見 俊介

（一見）相続トラブルが増えていると聞きますが、実際にどんなトラブルが起こっていますか？

（松岡）相続トラブルの相談件数は、年々増えています。その背景には、核家族化や離婚が増えている状況もあります。ある女性は、亡くなった夫と前妻との間に子どもがいて、その子どもから相続の権利を主張されました。相続財産に現金はほとんどなく、現在住んでいる自宅が唯一の財産であったため、どうしたら良いか大変困ったそうです。このように、**家族関係が複雑になることで、遺産分割協議は難航**することがあります。

（一見）背景には、社会の変化も影響しているのですね。他にも相続問題と感じることはありますか？

（松岡）平均寿命が長くなったことで、子どもと親の亡くなる順番が逆になってしまったり、相続人が兄弟になる場合もあります。また、2020年の生涯未婚率（50歳まで未婚）は、男性25・7％、女性16・4％で、今後ますます高くなることが予想されています。**配偶者や子どもがいないため、相続人がいないケースが増えています。**相続人がいない場合は国庫へ帰属、つまり国の財産になることになります。その数はこの20年で6倍になっていて、**2021年は647億円もの相続財産が国の財産になっています**（※注2）。若い世代に資金がいかず、国にお金がいってしまうといったケースが増えてくることが予想されます。

（一見）伊賀市では3人に1人が高齢者という状況からも、他人事ではないと感じる人も多いでしょう。トラブルを防ぐためには、どのような準備ができますか？

（松岡）多くの相続トラブルは遺言書をつくることで未然に防ぐことが出来るため、あるのとないのでは雲泥の差です。ただ、遺言書の作成は複雑な点もあり、専門家に相談することをお勧めしています。自己流で書いて、却ってトラブルが増えるケースもあります。まずは自分に遺言書が必要かどうか、わかっておくことから始めてはいかがでしょうか。

特に、**❶子どもがいない夫婦❷再婚して前妻との間に子どもがいる❸内縁関係の相手に相続を譲りたい婚外子がいる❹相続人が一人もいない❺相続人に認知症の方がいる❻未成年の子どもがいる❼相続人が海外にいる、といった場合には、ぜひ遺言書を作成していただきたい**です。ただ、作成した方がよいことを自覚していても、作成しない人が多いので心配です。

（一見）遺言書を残しておくことが大切なんですね。他にもトラブルを回避する方法はありますか？

（松岡）そうですね、生前のコミュニケーションはとても大切だと考えています。お盆や年末年始など

※注1 出典：（一社）相続解決支援機構：https://www.souzoku.or.jp/、※注2 出典：全国レガシーギフト協会

親族が集まる機会に、亡くなった時のことを少しでも話をしておくとよいと思います。本人が亡くなった後だと、死後どうしてほしかったのかわからないということがよく起こるのです。**まずは会話、普段のコミュニケーション**から始められてはいかがでしょうか。

また、遺言書を作成する際、**相続金額の一部を遺贈寄付という形で社会に活かそうと考える方も増えてきています。**こちらもぜひご検討いただければと思います。

（一見）家族内でのコミュニケーションが、相続トラブル対策になるのですね。遺贈寄付について、もう少し詳しくお聞かせください。

（松岡）遺贈寄付というのは、個人が遺言により遺産の全部、または一部をNPO法人や自治体などに寄付することをいいます。地域で暮らし、地域を愛した人の人生最後の恩返し、そして社会貢献にもなります。ある方は本が大好きで、遺贈寄付として10万円を地元の図書館に寄付されたそうです。その図書館では寄付金を活用し、特設コーナーを開設され、寄付者のお孫さんやひ孫さんは、図書館でそのコーナーを通るたびに祖母を身近に感じているそうです。

（一見）残されたお孫さんやひ孫さんにとっても嬉しいことが実現できるのが素敵ですね。

（松岡）遺贈先は、ご自身が生前好きだったものや趣味から考えてもいいですね。今年7月に「遺贈寄付手続きガイドブック」を作成したので、ぜひ参考にしてください。大金じゃないと寄付できないと思っている人がいますが、**少額でも遺贈寄付はできますし、相続税を減らす効果もありますので**、ぜひ一度ご検討ください。

（一見）ガイドブックを作成されたきっかけを教えてください。

（松岡）いろんな方に、遺贈寄付というステキな制度があるということを知ってもらいたいと思ったからです。話をすると、みなさん好意的に捉えていただき、いろんなところに広めようと言ってくれました。寄付する人・受ける団体・社会それぞれにメリットがあり、今の時代に求められていると感じたことが大きいです。

遺贈寄付は、難しいものと思われがちですが、ガイドブックに作成ガイドを記載しましたので、遺言書を書きやすくなるきっかけになればと思います。また、「振り返りシート」は自分の人生の振り返りや、気持ちの整理などに活用していただきたく、特に力を入れました。

遺贈寄付は、生前に節約する必要はありません。亡くなった後に発生する人生最後の社会貢献であり、亡くなった方の意思がかなう制度なのではないでしょうか。

（一見）なるほど。遺贈寄付は、亡くなった方の意思を尊重し、最後に良い形として遺せる、家族や地域みんなが喜ぶ制度だと思いました。遺贈寄付も助けあいの一つの形として、大切なしくみですね。

遺贈寄付手続きガイドブックには、遺贈先の選択肢の一つとして、伊賀市社協も掲載。冊子は、伊賀市社協窓口にも設置している。

みんなでささえあうあったかい地域づくり

「歳末たすけあい募金」

募金期間
12月1日
▼
12月31日

自治会を通じてお願いにあがりますので、**一戸あたり350円**を目安にご協力をお願いします。
（目標額 7,000,000円）

歳末たすけあい募金 ってなあに？

「歳末たすけあい募金」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、

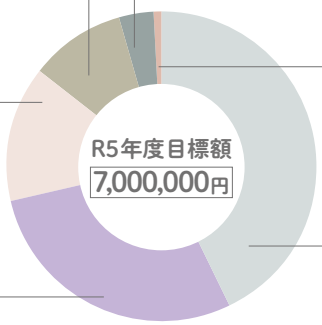
- ☑ **年末や新年に行う地域の幅広い人々が参加する地域福祉活動**
- ☑ **地域の福祉ニーズをもつ方（世帯）への支援**
- ☑ **たすけあいによるセーフティーネットの仕組みづくり** などをすすめます。

令和5年度の「歳末たすけあい募金」はこのような事業に活用される予定です。

歳末食事サービス事業 700,000円
一人暮らし高齢者等の食事サービス利用者に、年末年始の期間、ボランティアによる手作りのお弁当を無料でお届けします。

生活困窮・子どもの貧困対策事業 1,000,000円
生活にお困りの世帯に、食糧や日用品をお渡しするフードパントリーを開催します。

歳末見舞品配布事業 2,000,000円
民生委員児童委員による年末年始の訪問活動で、見舞品を配布します。



福祉映画会開催事業 250,000円
身近な芸術文化を通して、福祉啓発をします。鑑賞券購入費用は募金となります。

クリスマス会開催事業 50,000円
子育てサークルのクリスマス会開催を支援し、子育て世帯を応援します。

世代間交流事業 3,000,000円
身近な地域での世代間交流事業を支援し、地域活性化と交流をすすめます。

食事サービスを利用されている高齢者等に、年末に季節を感じられるお弁当をお届けしています。お弁当をお渡しすると共に、声掛けや安否確認を行っています。

歳末食事サービス事業

クリスマスの時期にフードパントリー（食糧・日用品配布）を行い、子育て世帯を応援します。同時に生活のお困りごとのご相談もお伺いしています。

フードパントリー（生活困窮・子どもの貧困対策事業）

三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会
〒518-0829 伊賀市平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館1階 ☎0595-33－0064

歳末たすけあい募金配分事業 福祉映画会

加賀まりこ　塚地武雅

梅切らぬバカ

©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木の枝は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまう。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが…。

■監督・脚本／和島香太郎　■出演：加賀まりこ、塚地武雅、渡辺いっけい、斎藤汰鷹、林家正蔵、高島礼子 ほか

■と き／2023年12月17日（日）　上映時間77分　字幕あり
①10:00～ ②13:30～（30分前から受付）

■ところ／前田教育会館 蕉門ホール
（伊賀市大谷670　☎24-5511）

※感染拡大時はマスクの着用をお願いする場合があります。

※鑑賞券／一般前売券　1,000円（当日1,300円）
小中高生前売券　800円（当日1,000円）

●鑑賞券を希望の方は、申込受付フォームまたは、伊賀市社協か前田教育会までご連絡ください。
●鑑賞券は、当日会場で代金と引き換えます。
（受付開始 11/1(水)10:00～ 前売券は事前予約のみ）
●乗り合わせにご協力ください

申込フォーム

○主催／公益財団法人 前田教育会 ☎0595-24-5511　○共催／(福)伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-33-0064
○後援／三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会

ひとり親家庭交流会 参加者募集

伊賀市母子寡婦福祉会では、ひとり親家庭を励ますため交流会を開催します。日頃忙しいひとり親家庭の保護者の方も、ビンゴゲーム等で楽しいひとときを過ごしませんか。令和6年3月中学校卒業、4月小学校入学の方にはお祝い品を用意します。

【日時】1月20日（土）10時～12時
【場所】伊賀市総合福祉会館 会議室
【参加費】こども無料・保護者300円
【申込・問い合わせ先】
参加希望の母子・父子家庭及び寡婦の方は、1月10日（水）までに、伊賀市母子寡婦福祉会 会長 茂山久代（☎52-1660）までお申し込みください。

広告募集中！

自分らしく踏み出す一歩
15～49歳までの、仕事に就きたいと思っている人とその家族を応援しています。

就職相談　各種講座　利用無料 要予約

仕事にいかせる!!
1月 ★毎月開催★ 無料パソコン講座
【ワード】22日(月)
【エクセル】24日(水)/29日(月)
【パワーポイント】31日(水)
時間 10:00～15:15

“就活”で不安なことありませんか!?
「知っていると安心」就職活動の知識やコツをかんたんに、わかりやすく説明します！

※サポステは、働くことの悩み相談から、さまざまな支援プログラムを通して、「働き出す力」を身に着けられる場所です。

要予約 サポステ出張相談（ハローワーク伊賀）
12月19日 火 13:00～16:00

サポステ
いが若者サポートステーション
☎0595-22-0039 ✉iga-saposute@npo-en.or.jp
伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀3階
■開所日／月～金 9:00～17:00（土・日・祝・年末年始は休み）

数字で見る伊賀市の福祉

令和5年10月末現在（前月比）

伊賀市の人口	▶ 86,182人（−34人）		
伊賀市の世帯数	▶ 40,553世帯		
65歳以上高齢者数	▶ 29,181人（−10人）	高齢化率	▶ 33.9%（±0%）
75歳以上高齢者数	▶ 16,222人（+47人）	後期高齢化率	▶ 18.8%（±0%）
介護保険認定者数	▶ 6,201人（+3人）		

あなたのまちのふれあい・いきいきサロン No.199

味めし会
メンバー数／16名
開催場所／野村区集落センター
開催頻度／毎月第4月曜日

「味めし会」は2014年4月に発足し、今年で9年目になります。毎月第4月曜日を開催日と定め、80歳から91歳までの16人のメンバーが集まっています。会の名称である「味めし」の由来は、かつて柘植の余野公園で開催されていた「つつじ祭り」で販売していた「野村区の味めし」を作っていた、当時の婦人会メンバーが集まったサロンなので、「味めし会」と名付けました。

サロンでは、市消防団女性分団の方々や、歯科衛生士さんによる口腔ケアなど、さまざまな分野の講師を招き、知識の向上や介護予防につなげています。また、毎回のお茶タイムでは、お互いの近況報告など、おしゃべりに花が咲き、和やかな雰囲気で楽しい時間を過ごされています。参加者は、「サロンの日はカレンダーに印をつけて楽しみにしている」、「みんなの顔を見て話が出来るのがうれしい」と、笑顔でお話してくれました。

我ら！ふくしレンジャー No.208

岡本（おかもと） 敦子（あつこ）さん　上野在住

●活動を始めたきっかけ

24年前までは、福祉とは特に接点のない生活を送っていました。当時の区長さんから、「車に乗れるから」と声をかけられたことと、身近な友人が民生委員児童委員だったこともあり、民生委員児童委員として地域福祉活動に関わるようになりました。

●活動内容

民生委員児童委員の活動を通して、親族がいない人の看取りに立ち会ったことなど、心に残る出会いがたくさんあります。

令和3年11月で民生委員児童委員は退任しましたが、24年間続けてこられたのは、地域の方や諸先輩のおかげだと思うと、恩返しがしたく、地域の見守り活動やサロン活動を続けています。

●今後の抱負

人とつながることが私の原動力になっているので、時代はかわってもできる限り地域へのかかわりを続けていきたいです。

編集後記

表紙は、防災教育の一環で、災害時に割れたガラスを踏むなどの二次災害を防ぎ、避難所生活の寒さ対策にも使える「新聞スリッパ作り」の様子です。被害対策として、枕元に履物を用意したり、ガラスに飛散防止フィルムなどを貼るなどの方法もあります。

編集・発行
伊賀市社会福祉協議会
本部 〒518-0829　平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館1階
☎0595(21)5866／FAX0595(26)0002
地域センター
上野 〒518-0829　平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館1階
☎0595(21)1112／FAX0595(21)8123
いがまち 〒519-1413　愛田513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」
☎0595(45)1012／FAX0595(45)1050
島ヶ原 〒519-1711　島ヶ原4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」
☎0595(59)3132／FAX0595(59)3145
阿山 〒518-1313　馬場1128番地の1 阿山保健福祉センター
☎0595(43)1854／FAX0595(43)1577
大山田 〒518-1422　平田656番地の1 大山田福祉センター
☎0595(47)0780／FAX0595(46)1165
青山 〒518-0226　阿保1988の1番地 青山福祉センター
☎0595(52)2999／FAX0595(52)3555
●この広報誌は、社協会費、有料広告等により発行しております。